

第1回経営発達支援計画事業評価委員会 会議録

- 1 招集通知 令和 5年 2月 9日 (木)
- 2 開催日時 令和 5年 2月28日 (火) 13:30～14:20
- 3 開催場所 瀬戸内市商工会 本部2階会議室
- 4 出席者 9名 副委員長 (委員長代理) 福崎 勇 (商工会副会長)
委 員 石田 茂樹 (経営支援事業委員会委員長)
藤井 雅司 (経営支援事業委員会副委員長)
山口 卓男 (地域振興事業委員会委員長)
神坂 俊規 (地域振興事業委員会副委員長)
山本 信幸 (青年部長)
岡部 峯子 (女性部長)
服部 博昭 (瀬戸内市産業振興課課長)
オブザーバー 元浜 詳一 (商工会会長)

5 議 長 福崎 勇

6 協議事項

- (1) 令和4年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について
- (2) 令和5年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて
- (3) その他

7 議事の経過と結果

(開 会)

午後1時30分、事務局（石井事務局長）が事業評価委員会を開催する旨を宣し、委員長死亡につき不在となっているため、後任決定までの会議進行を元浜会長に求めた。

元浜会長は、開会あいさつを述べ、委員会規程第4条第4項「副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。」とあるので、福崎副委員長に委員長代理を務めるよう求めた。福崎副委員長はこれを快諾した。

事務局（石井事務局長）は委員会規程第6条に基づき福崎副委員長（委員長代理）に議長就任を求めた。

福崎副委員長（委員長代理）は議長に就任し、挨拶を述べ、続けて協議に入った。

（協議事項）

福崎副委員長（委員長代理）は「令和4年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局（松本課長・石原課長、友次指導員）は資料1、資料1－①、資料1－②により説明した。

福崎副委員長（委員長代理）はこのことについて意見を求めたところ次のような発言があった。

<発言要旨>

福崎副委員長：4年ぶりとなる商談会での実績は評価できるのか。

友次指導員：商談のみにとどまることが多い中、成約実績も出ており期待以上の成果と捉えている。

元浜会長：本商談会では実際に有償で商品を提供するような販売行為はあったのか。

松本課長：商談会の来場者は一般ではなくバイヤー等である。有償の取引は一切なく無償によるサンプル提供のみである。

瀬戸内市に準備いただいたブースは多くのバイヤーをひきつけた。

このことで成約などの実績につながったと思われる。

福崎副委員長：支援事例は商工会の支援で重要なことである。瀬戸内市と連携して、支援が行われている。特にこの3、4年はコロナの影響を受けた事業者も多く商工会が役に立っている。

福崎副委員長：事業者の支援は、事業者が商工会へ相談に来会し行われるのか。

松本課長：支援にはきっかけがある。小規模事業者持続化補助金等の各種支援施策をきっかけとした支援が多い。

福崎副委員長：事業者の皆さんに上手く商工会を活用いただきたい。敷居が低く、相談しやすい環境づくりが重要だ。

山本委員：青年部ということで、若い世代から事業を始めたいといった話を伺うことがあり、商工会で相談することを勧めている。ただ、一から事業を始める人にとってはどの段階から商工会は対応してくれるのか。

松本課長：商工会自体、商工業者以外からは認識がうすく、事業者によって来会するタイミングは様々である。事業化を検討している段階からでも来ていただければよい。創業資金や助成金などのきっかけで相談いただいてもよい。

服部委員：商工会も経営発達支援計画に取り組みされており、瀬戸内市としても創業塾や展示会など予算措置を講じながら連携して支援していく。市役所でも創業希望者が見えられるので、商工会につなぐなどにより担当者レベルで連携し支援している。

福崎副委員長：M&Aのようなマッチングもおこなっているのか？

松本課長：事業承継診断を行っており、岡山県産業振興財団と連携し行っている。日本政策金融公庫とも連携して支援を行っている。

福崎副委員長（委員長代理）は「令和5年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局（松本課長・石原課長）は資料2により説明した。

福崎副委員長（委員長代理）はこのことについて意見を求めたところ次のような発言があった。

<発言要旨>

福崎副委員長：この3年間で状況は大きく変わっている。現状通りの方針としつつも、（地域振興事業）委員会で調査・協議をいただきたい。

石田委員：それで良いと思う。

福崎副委員長はその他、何かないか諮ったところ何もなかった。

本日の協議の結果を理事会へ提案していくと述べ、議長の座を降壇した。

（閉 会）

福崎副委員長は、閉会のあいさつを述べ終了した。時に、午後2時20分であった。